

講道館試合審判規定の禁止事項(反則)の累積

現在の反則	新たな反則	反則の宣告	相当する技の効果
指導	指導	注意	有効
指導	注意	注意	有効
指導	警告	警告	技あり
指導	反則負け	反則負け	一本
注意	指導	警告	技あり
注意	注意	警告	技あり
注意	警告	警告	技あり
注意	反則負け	反則負け	一本
警告	指導	反則負け	一本
警告	注意	反則負け	一本
警告	警告	反則負け	一本
警告	反則負け	反則負け	一本

* 現在反則を受けている試合者がさらに反則を犯したときは、より重い反則の宣告を受け、前の反則は自動的に消滅する。

* 「注意」、「警告」、「反則負け」の宣告を受けた試合者は、他方の試合者にそれぞれ「有効」、「技あり」、「一本」の技の効果をとられたのと同等に取り扱い、他方の試合者の得点表示板に技の効果として自動的に表示される。

* 講道館試合審判規定では、「効果」がないため、「指導」についてもポイントにはならない。

* 講道館規定の反則の詳細については、[「講道館・IJF反則の比較」](#)をご参照ください。

参考資料:

「詳解 柔道のルールと審判法 [2004年度版]」(大修館)

「講道館柔道試合審判規定〈取扱い統一事項〉(平成13年6月4日改正)」(講道館/全日本柔道連盟)

各種公認審判講習会資料